

令和 7年 1月 7日

企 画 提 案 書

(あて先) 久御山町長

みまきっこまんなか応援村開村準備事業に係る企画について、次のとおり提案します。

A 【令和6年度の実施内容】

キックオフイベントの内容

実施内容	対象	目的	その他（事業費等）
みまきっこ祭(仮称)実施 ・「あの人をさがせ！～宝探し～」(仮称) ・チャレンジブース(仮) ・射的などの遊び 飲食ブース 及びその他の企画 ※詳細は企画実行委員の「やりたい！」を引き出し、その内容を実施する。	子どもを中心に誰でも 誰でも	・子どもが主体的に参加できる仕掛け作りと運営に関わる大人には役割を担っていただく ・校区、年齢を超えてみんなで遊び、みんなで食べる機会の創出。 ・多世代交流の機会創出。	消耗品等 60,000円 バルーン等装飾(映えスポット) 150,000円 食材、容器代 300,000円
・次年度のみまきっこ実行委員募集 次年度の予定表配布 公式LINE登録の案内 運営募金呼びかけ	大人・子ども	・次年度以降の運営に関わってもらう人材の発掘と繋がり作り	公式LINE 66,000円 運営ボランティアへの謝金 424,000円

※ 記載項目を網羅していれば、表の加筆修正は可とします。

様式第4号

B【令和7年度以降の実施内容】

ア 寺子屋塾

年度	取組内容	取組頻度	実施場所	実施するねらい	その他 (事業費等)
令和7年度	①自習室 ②昔あそび ③宿題カフェ ④地域資源調査	①②週1回 ③週3回 ④随時	①～③のこのこ村 ④御牧地区の社会資源	①～③のこのこ体験。④御牧地区の人たちの意見調査。	(エ)に計上
令和8年度	令和7年度の①～④ ⑤イベントを通しての学び(スポーツ、キッズカフェ)	①～④令和7年度と同様 ⑤年2回想定	①～③のこのこ村 ④、⑤御牧小学校、河川敷、御牧のお寺他	前年度のフィードバック。子ども達の自己肯定感、達成感等の非認知能力の向上	(エ)に計上
令和9年度	令和7・8年度の①～④ ⑤イベントを通しての学び(スポーツ、キッズカフェ)	①～④令和7・8年度と同様 ④年2回想定	①～③のこのこ村 ④、⑤御牧小学校、河川敷、御牧のお寺他	前年度のフィードバック。子ども達の自己肯定感、達成感等の非認知能力の向上。	(エ)に計上

イ プレイバス

年度	取組内容	取組頻度	実施場所	実施するねらい	その他 (事業費等)
令和7年度	あおぞらみんな食堂と同時開催 (トランポリン、皿回し、こま、竹馬、ウクレレ、疑似体験)	年2回	御牧小学校 他、御牧の地域資源※ 御牧地区の大人の声を聴いて決定	一人でも遊べるおもちゃ→一人でも来られる。教える大人が出てくる可能性有	(エ)に計上

様式第4号

令和8年度	あおぞらみんな食堂と同時開催 (トランポリン、皿回し、こま、竹馬、ウクレレ、疑似体験)	年2回と予定するが、子どもたちの意見、前年度のフィードバックを受け改善予定	・のこのこ村(子どもマルシェ) ・御牧小学校他、R7年度の声により決定	アンケートを実施し、どんな遊びがしたいかを調査。前年度のフィードバックと運営体制の構築	(エ)に計上
令和9年度	あおぞらみんな食堂と同時開催 (トランポリン、皿回し、こま、竹馬、ウクレレ、疑似体験)	年2回以上と予定するが、子どもたちの意見、前年度のフィードバックを受け改善予定	・のこのこ村(子どもマルシェ) ・御牧小学校他、R7年度の声により決定	アンケートを実施し、どんな遊びがしたいかを調査。前年度のフィードバックと運営体制の構築	(エ)に計上

ウ こども自治会

年度	取組内容	取組頻度	実施場所	実施するねらい	その他(事業費等)
令和7年度	子どもマルシェあおぞらみんな食堂も同時開催	年2回。 現段階では秋・春想定	のこのこ村・御牧小学校	のこのこ村での子どもマルシェ体験。居場所の周知	(エ)に計上
令和8年度	子どもマルシェあおぞらみんな食堂と同時開催 ※ミーティングは別途実施	年2回以上予定。子どもの意見を受け決定する。	のこのこ村・御牧小学校。子どもの意見により決定。	令和7年度のマルシェの仲間を御牧校区からの募集し、自分の居場所にする。	(エ)に計上

様式第4号

令和9年度	子どもマルシェ あおぞらみんな 食堂と同時開催 ※ミーティング は別途実施	年2回以上。 子どもとの運 営会議で決定 する。	のこのこ 村・御牧小 学校。子ど の意見によ り決定。	子どもの主体性 の引き出し。自 分のやりたいこ とが実現できる ことを体験。	(エ)に 計上
-------	---	-----------------------------------	---	--	------------

エ こども食堂

年度	取組内容	取組頻度	実施場所	実施する ねらい	その他 (事業費 等)
令和7年度	①ばんごはん会 子ども100円 大人500円 ※無料チケット あり ②あおぞらみん な食堂 ※御牧の野菜使 用。	①週1回 ②年2回 現段階では 秋・春想定	①のこのこ 村 ②御牧小学 校	みんなで食 べる楽しさ を体験。 ニーズ調査。	公式LINE 66,000円 食材・容器代 80,000円 消耗品費 50,000円 印刷製本費 50,000円 人件費・謝 金2,754,000 円
令和8年度	①ばんごはん会 子ども100円 大人500円 ※無料チケット あり ②あおぞらみん な食堂 ※御牧の野菜使 用。	①週1回 ②年2回を予 定するが、子 どもたちの意 見により決 定。	①のこのこ 村 ②御牧小学 校 子どもたち の意見によ り決定。	みんなで食 べる楽しさ を体験。 前年度のフ ィードバッ クを受け、実 現に向けて の計画を立 てる。	公式LINE 66,000円 食材・容器代 160,000円 消耗品 100,000円 印刷製本費 50,000円 人件費・謝 金2,624,000 円

様式第4号

令和9年度	①ばんごはん会 子ども100円 大人500円 ※無料チケットあり ②あおぞらみんな食堂 ※御牧の野菜使用。	①週1回 ②年2回を予定するが、子どもたちの意見により決定。	①のこのこ村 ②御牧小学校 子どもたちの意見により決定。	前年度までの成果を見つ、運営に活かしていく。運営体制の構築。	公式LINE 66,000円 食材・容器代 160,000円 消耗品 100,000円 人件費・謝金 2,674,000円
-------	--	-----------------------------------	------------------------------------	--------------------------------	--

オ 地域の大人が主体的に関わる仕組みづくり

<ul style="list-style-type: none"> ・企画運営に関わってくれる実行委員の「やりたいこと」を引き出し、その企画をイベント内で実施する。実行委員の自己実現の機会にすることにより、第一段階として大人の「わくわく」を引出していく。大人の主体性を上げることで地域で子育てする機運を醸成していく。 ・子どもだけでなく、地域の大人も行きたくなるイベントを実施する。 ・御牧校区の長所・短所として①「幼少期からの繋がり深さ」②「旧家や同居世帯が多い事」が挙げられる。①の長所を活かし、実行委員（子ども自治会）を経験した子どもたちが、大人になっても主体的に繋がり続けられる機会を創出していく。②の特徴として餅つきなどの伝統文化を大切にしている家庭が多いため、その文化を次世代や他地域の子どもにも伝えていく企画を実施することで、地域の高齢者を含む大人の貢献感を引出し、子どもをまんなかに地域の高齢者（大人）も主体的に関わっていく仕掛けを作っていく。
--

カ 拠点がかどもや大人が気軽に集まれる場所となるために施設面・運営面で必要なこと

施設面	<ul style="list-style-type: none"> ・みんな食堂を衛生的な場所で調理するため、飲食店の営業許可が取得できるカフェ等があること ・駐車場が広いこと ・バリアフリーであること ・椅子に座れるスペースがあること ・畳の部屋があること ・使用用途によって部屋を区切ることができること
-----	--

様式第4号

	<ul style="list-style-type: none">・ボールで遊べるエリアがあること・一人になれるスペースがあること
運営面	<ul style="list-style-type: none">・近隣への説明会を実施すること・全員の主体性を尊重すること・指導する場所ではないこと・やりたいことが実現できる場所であること・大人も子どもも「行きたい」と思える場所であること

※ 記載項目を網羅していれば、表の加筆修正は可とします。